

報道関係者 各位

2016年3月14日  
株式会社ミロク情報サービス  
(証券コード:9928)

## ユーラシア全体の文化遺産の保護や修復と国際ネットワークの構築を目指す 東京藝術大学の「ユーラシア文化交流センター」を支援

財務・会計システムおよび経営情報サービスを開発・販売する株式会社ミロク情報サービス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:是枝周樹 以下、MJS)は、東京藝術大学が社会連携の一環として創設した「ユーラシア文化交流センター」の活動に賛同し、同活動への支援を2016年4月より開始します。

ユーラシアは、複合的かつ多元的な文化交流を通して形成されてきた歴史的空間であり、異なる文化が交差・融合・変容し、新たな文化を絶えず生み出してきた創造的な空間でもありました。しかし、21世紀に入ってもなお、ユーラシアの文化遺産の多くは戦乱や民族紛争の中で危機に直面していることから、ユーラシア全体の文化遺産の保護や修復、複製制作、遺産活用に関する情報を交流・収集し、文化的発展に貢献する国際ネットワークの構築を目指すために「ユーラシア文化交流センター」が設立されました。

現在、同センターの活動の一環として、東京藝術大学が取得している特許技術などの手法を用いて2001年に爆破されたバーミヤン東大仏の天井壁画を原寸大(奥行8m、幅7m、高さ3m)で完全復元する、世界で初めてとなる試みが行われています。この天井壁画は、4月12日(火)より東京藝術大学美術館陳列館でアフガニスタン特別展『素心 バーミヤン大仏天井壁画』～流出文化財とともに～<sup>\*</sup>で展示される予定です。

MJSは、これまでも企業理念に基づき、文化活動や環境・社会貢献活動などのCSR活動に積極的に取り組んできました。文化・芸術を保護し、それらを後世に伝える一助を担いたいという考えから、「東京国立博物館」や「文化財保護・芸術研究助成財団」の支援活動も長年継続しています。

今後もMJSは、「ユーラシア文化交流センター」への支援を通じて、文化遺産の保護など、さまざまな社会貢献活動を行ってまいります。

<sup>\*</sup>4月12日(火)～6月19日(日)の間、東京藝術大学美術館陳列館にて入場料無料で開催。

### ■ 株式会社ミロク情報サービス(MJS)について (<http://www.mjs.co.jp/>)

全国の会計事務所と中堅・中小企業に対し、経営システムおよび経営ノウハウならびに経営情報サービスを提供しています。現在、約8,400の会計事務所ユーザーを有し、財務会計・税務を中心とした各種システムおよび経営・会計・税務等に関する多彩な情報サービスを提供しています。また、中堅・中小企業に対して、財務を中心としたERPシステムおよび各種ソリューションサービスを提供し、企業の経営改善、業務改善を支援しています。現在、約17,000社の中堅・中小企業ユーザーを有しています。

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ミロク情報サービス  
社長室 広報・IR担当 川口・山田  
Tel:03-5361-6309 Fax:03-5360-3430  
E-mail:[press@mjs.co.jp](mailto:press@mjs.co.jp)